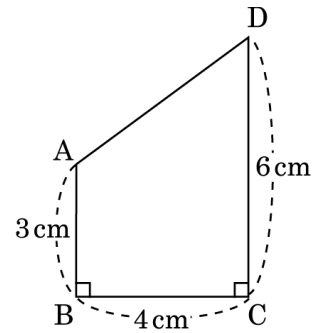
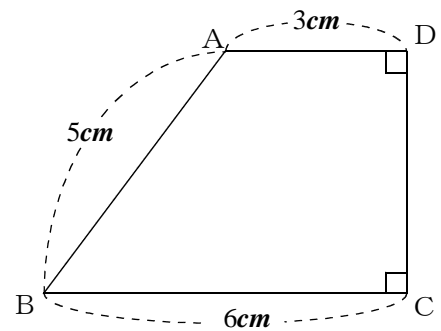


回転体の問題 1

問 1. 図のような, $AB = 3\text{cm}$, $BC = 4\text{cm}$, $CD = 6\text{cm}$, $\angle B = \angle C = 90^\circ$ の台形 $ABCD$ がある。
この台形を辺 AB を軸として 1 回転させてできる立体の体積を求めなさい。(2003岡山)



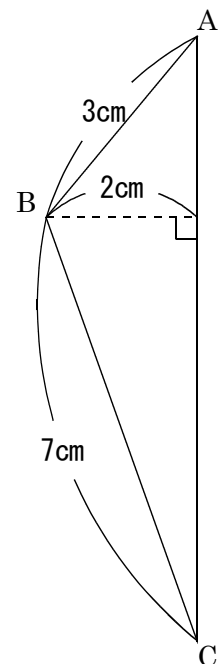
問 2. 右の図のように, $AB = 5\text{cm}$, $BC = 6\text{cm}$, $AD = 3\text{cm}$, $\angle C = \angle D = 90^\circ$ の台形がある。これを、辺 CD を軸として、1 回転してできる立体の体積と側面積を求めなさい。



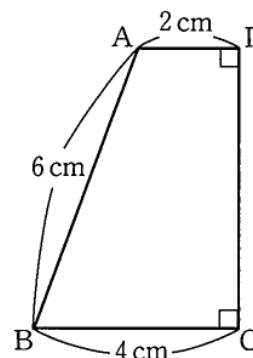
問 3. 図は, $AB = 3\text{ cm}$, $BC = 7\text{ cm}$ の三角形 ABC である。頂点 B から辺 AC に引いた垂線の長さが 2 cm のとき, 次の問いに答えなさい。(H16)

(ア) 辺 AC の長さを求めなさい。

(イ) この三角形 ABC を, 辺 AC を軸として 1 回転させたときにできる立体の表面積を求めなさい。
ただし, 円周率は π とする。

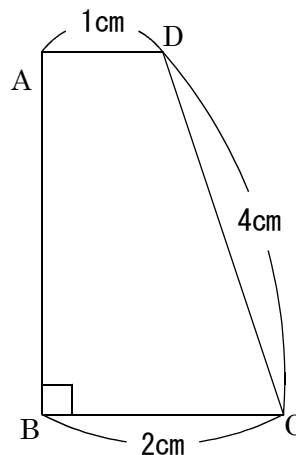


問4. 図のように、 $\angle BCD = \angle ADC = 90^\circ$ 、 $AB = 6\text{ cm}$ 、 $AD = 2\text{ cm}$ 、 $BC = 4\text{ cm}$ の台形 ABCD がある。この台形を辺 DC を軸として一回転させてできる立体の表面積を求めなさい。ただし、円周率は π とする。(2005秋田)

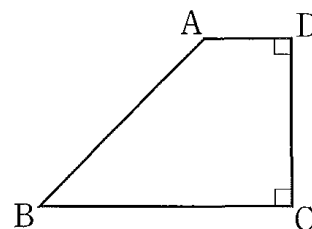


問5. 図は、辺 AD と辺 BC が平行で、 $\angle ABC$ が直角の台形であり、 $AD = 1\text{ cm}$ 、 $BC = 2\text{ cm}$ 、 $CD = 4\text{ cm}$ である。この台形を、辺 AB を軸として1回転させてできる立体について、次の問いに答えなさい。ただし、円周率は π とする。(H12)

- (ア) この立体の体積を求めなさい。
- (イ) この立体の側面積を求めなさい。



問6. 台形 ABCD があり、 $AD = 1\text{ cm}$ 、 $CD = 2\text{ cm}$ 、 $\angle BCD = \angle ADC = 90^\circ$ 、 $\angle BAD = 135^\circ$ である。この台形 ABCD を辺 CD を軸として1回転してできる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率を π とする。(2012秋田)



問 1.

円柱の体積 $4 \times 4 \times \pi \times 6$

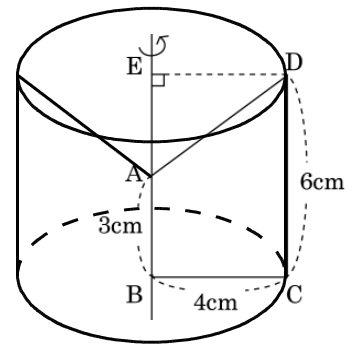
円錐の体積 $4 \times 4 \times \pi \times 3 \times \frac{1}{3}$

求める回転体の体積

$$4 \times 4 \times \pi \times 6 - 4 \times 4 \times \pi \times 3 \times \frac{1}{3}$$

$$= 96 \pi - 16 \pi$$

$$= 80 \pi$$



問 2.

体積比 = 相似比³ = 1 : 8 面積比 = 相似比² = 1 : 4

体積 $3 \times 3 \times \pi \times 4 \times \frac{1}{3} \times 7 = 84 \pi$

(別解) $6 \times 6 \times \pi \times 8 \times \frac{1}{3} \times \frac{7}{8} = 84 \pi$

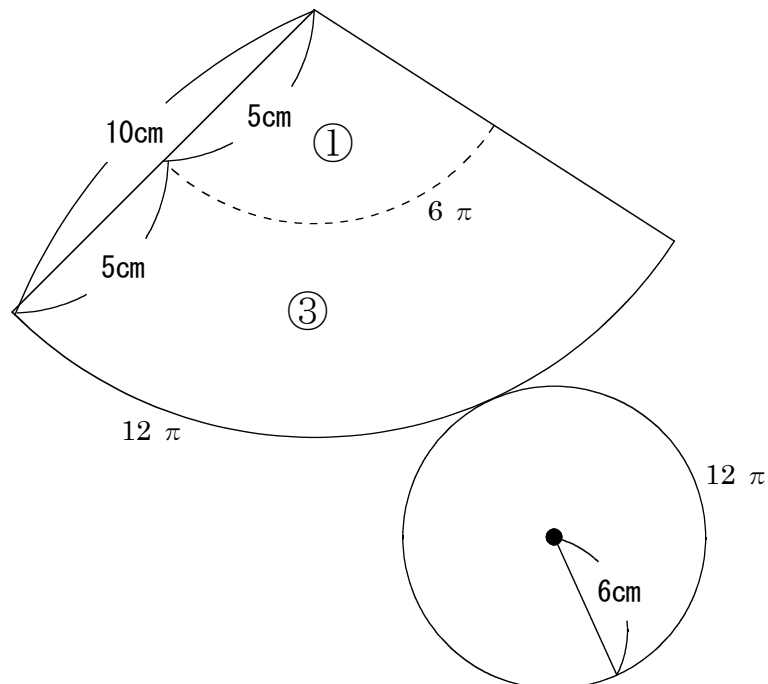
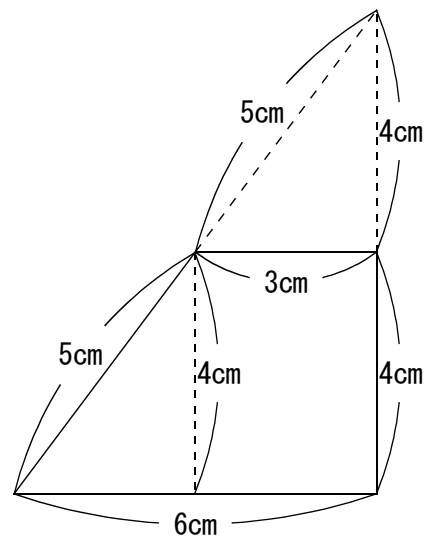
(別解) $6 \times 6 \times \pi \times 8 \times \frac{1}{3} - 3 \times 3 \times \pi \times 4 \times \frac{1}{3} = 84 \pi$

側面積 $5 \times 6 \pi \times \frac{1}{2} \times 3 = 45 \pi$

(別解) $10 \times 12 \pi \times \frac{1}{2} \times \frac{3}{4} = 45 \pi$

(別解) $12 \pi \times 10 \times \frac{1}{2} - 6 \pi \times 5 \times \frac{1}{2} = 45 \pi$

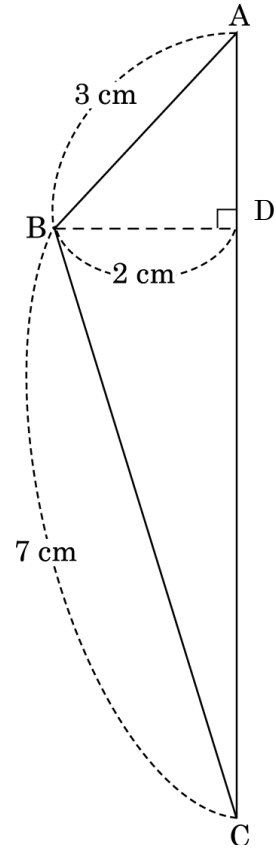
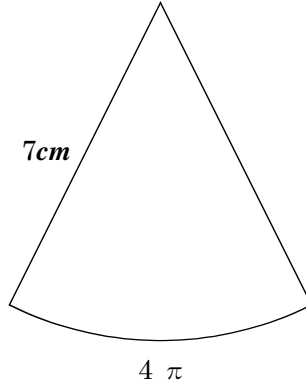
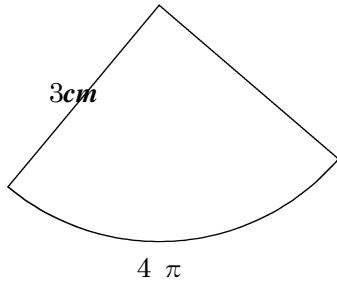
(別解) $(12 \pi + 6 \pi) \times 5 \times \frac{1}{2} = 45 \pi$



問 3.

- (ア) 頂点 B から辺 AC に引いた垂線と辺 AC との交点を D とすると、
 三平方の定理より、 $AD^2 = 3^2 - 2^2 = 5$ $AD = \sqrt{5}$
 同様に、 $CD^2 = 7^2 - 2^2 = 45$ $CD = 3\sqrt{5}$
 よって、 $AC = AD + CD = \sqrt{5} + 3\sqrt{5} = 4\sqrt{5}$ (cm)

- (イ) (ア) で定めた D を用いて、



おうぎ形の面積の公式を使って

$$3 \times 4\pi \times \frac{1}{2} + 7 \times 4\pi \times \frac{1}{2} = 6\pi + 14\pi = 20\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

円の面積からの割合で

$$\pi \times 3^2 \times \frac{4\pi}{6\pi} + \pi \times 7^2 \times \frac{4\pi}{14\pi} = 6\pi + 14\pi = 20\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

相似比 = 半径の比を使って

$$\pi \times 3^2 \times \frac{2}{3} + \pi \times 7^2 \times \frac{2}{7} = 6\pi + 14\pi = 20\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

問 4.

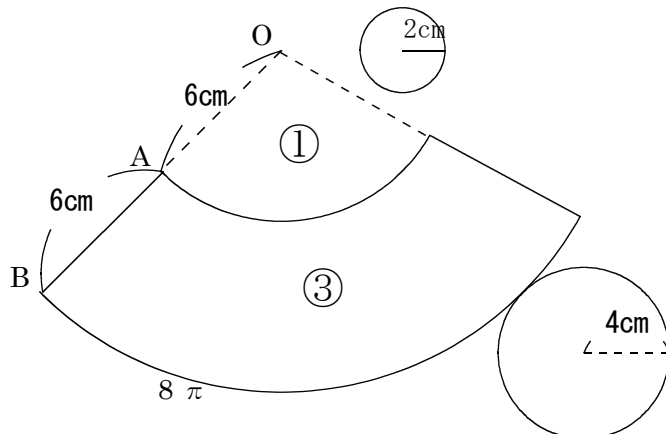
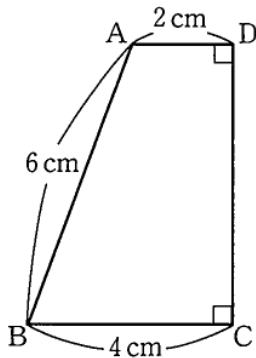
CD と BA の延長の交点を O とする。

△OBC で、AD // BC, AD : BC = 1 : 2 より、OA : OB = 1 : 2 よって、OA = AB = 6 (cm)

△OCB を OC を軸として 1 回転させてできる立体の側面は おうぎ形になるので、

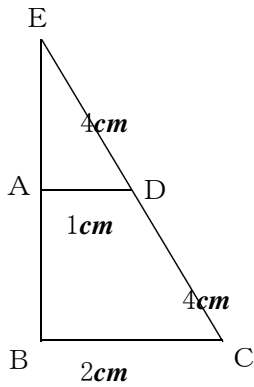
$$12 \times 8\pi \times \frac{1}{2} \times \frac{3}{4} = 36\pi \text{ (cm}^2\text{)} \quad (\text{相似比 } 1 : 2 \rightarrow \text{面積比 } 1 : 4)$$

したがって、求める表面積は、 $36\pi + 2^2\pi + 4^2\pi = 56\pi \text{ (cm}^2\text{)}$



問 5.

(7)



BAの延長とCDの延長との交点をEとする

中点連結定理より $EC = 8\text{cm}$

$\triangle EBC$ において三平方の定理より $EB^2 = 8^2 - 2^2 = 60$

$EB > 0$ より $EB = 2\sqrt{15}$

$\triangle EBC$ を回転させてできる円錐の体積は

$$2 \times 2 \times \pi \times 2\sqrt{15} \times \frac{1}{3} = \frac{8\sqrt{15}}{3} \pi$$

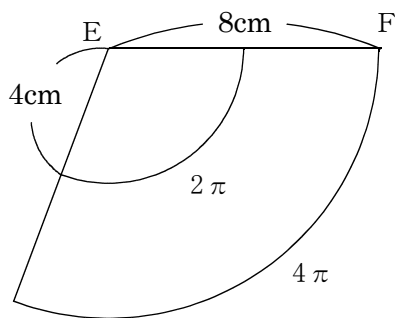
$\triangle EAD$ を回転させてできる円錐の体積は

$$1 \times 1 \times \pi \times \sqrt{15} \times \frac{1}{3} = \frac{\sqrt{15}}{3} \pi$$

引き算をすると $\frac{8\sqrt{15}}{3} \pi - \frac{\sqrt{15}}{3} \pi = \frac{7\sqrt{15}}{3} \pi \text{ (cm}^3\text{)}$

(別解) 相似比 $1 : 2 \rightarrow$ 体積比 $1 : 8$ 割合で考えると $4\pi \times 2\sqrt{15} \times \frac{1}{3} \times \frac{7}{8} = \frac{7\sqrt{15}}{3} \pi \text{ (cm}^3\text{)}$

(i) 展開図を書いてみる



中心角を出さないで

おうぎ形の面積の公式を利用して

$$\frac{1}{2} \times 8 \times 4\pi - \frac{1}{2} \times 4 \times 2\pi = 12\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

(別解)

相似比 $1 : 2$ 面積比 $1 : 4$ なので $1 : (4 - 1)$

大きい方を基準にして 割合で考えると

$$\frac{1}{2} \times 8 \times 4\pi \times \frac{3}{4} = 12\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$

あるいは小さい方を基準にして 割合で考えると $\frac{1}{2} \times 4 \times 2\pi \times 3 = 12\pi \text{ (cm}^2\text{)}$

問 6.

A から BC に垂線を引き交点を E とすると $\angle BAE = 135 - 90 = 45^\circ$

$\angle AEB = 90^\circ$ なので $\angle ABE = 45^\circ$ $AE = BE = 2\text{cm}$ なので $BC = 3\text{cm}$

$\triangle FAD \sim \triangle FBC$ で相似比は $1 : 3$ 立体の体積比は $1^3 : 3^3 = 1 : 27$

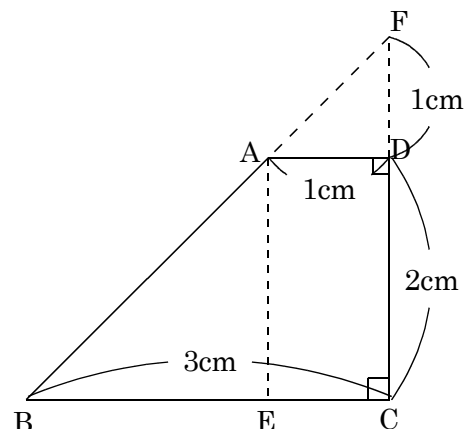
したがって $3 \times 3 \times \pi \times 3 \times \frac{1}{3} \times \frac{26}{27} = \frac{26}{3} \pi \text{ cm}^3$

(別解) 小さい方を基準にして 割合で考えると

$$1 \times 1 \times \pi \times 1 \times \frac{1}{3} \times 26 = \frac{26}{3} \pi \text{ cm}^3$$

(別解) 引き算で計算すると

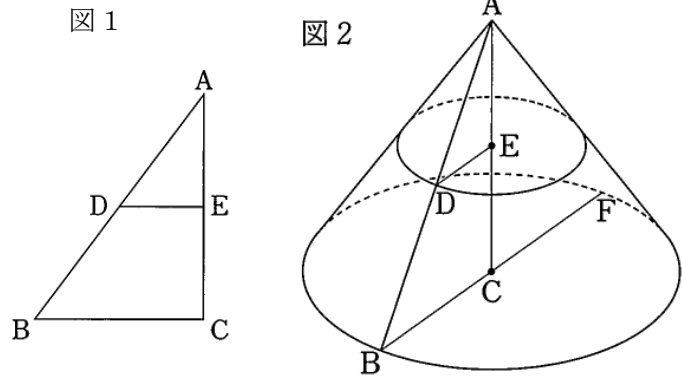
$$9\pi - \frac{1}{3} \pi = \frac{26}{3} \pi$$



回転体の問題2

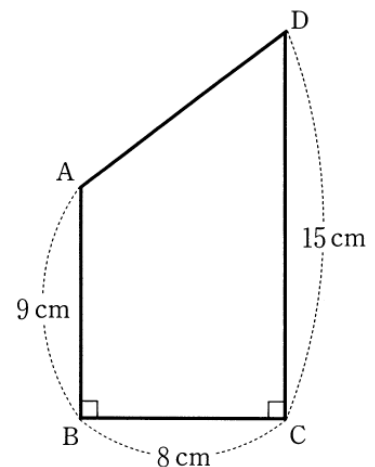
問1. 図1は、 $AC = 8\text{ cm}$ 、 $BC = 6\text{ cm}$ 、 $\angle ACB = 90^\circ$ の直角三角形 ABC に、辺 AB の中点 D 、辺 AC の中点 E をとり、点 D と点 E を結んだものである。図2は、図1の直角三角形 ABC を、辺 AC を軸として1回転させてできた回転体を表しており、点 B と点 C を通る直線と、円 C の円周との交点のうち、点 B と異なる点を F としたものである。また、円 C に平行で、点 E を中心とし、線分 ED を半径とする円を円 E とする。次の各問いに答えなさい。ただし、 π は円周率を表す。(2005福岡)

- (ア) 図1に示す図形で、線分 AB の長さを求めなさい。
 (イ) 図2に示す回転体において、円 C を底面とし線分 AC を高さとする円すいの体積を求めなさい。
 (ウ) 図2に示す回転体において、円 E の円周上に点 P を、 $\triangle BPF$ の面積が最も大きくなるようにとる。このとき、 $\triangle BPF$ の面積を求めなさい。



問2. 下の図は、 $AB = 9\text{ cm}$ 、 $BC = 8\text{ cm}$ 、 $CD = 15\text{ cm}$ 、 $\angle B = \angle C = 90^\circ$ の台形である。このとき、次の(ア)～(ウ)に答えなさい。ただし、円周率は π とする。(2000山梨)

- (ア) 辺 AD の長さを求めなさい。
 (イ) 辺 CD を軸として1回転させてできる立体の表面積を求めなさい。
 (ウ) 辺 AD を軸として1回転させてできる立体において、点 C がえがく円の周の長さを求めなさい。



問3. 図1は、 $AB = 2\text{ cm}$, $BC = CD = DA = 1\text{ cm}$ の台形 $ABCD$ である。
この台形 $ABCD$ と合同な台形をたくさん用意し、これらの台形を並べて
つくる図形について、次の問いに答えなさい。

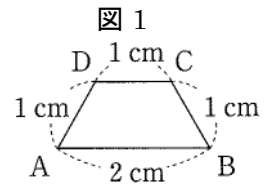
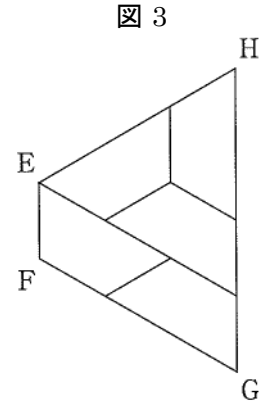
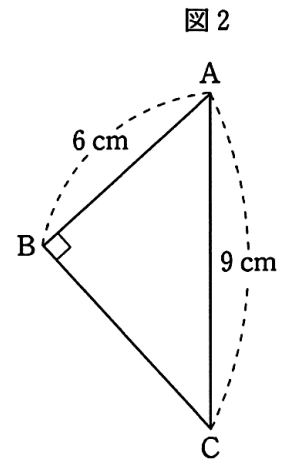


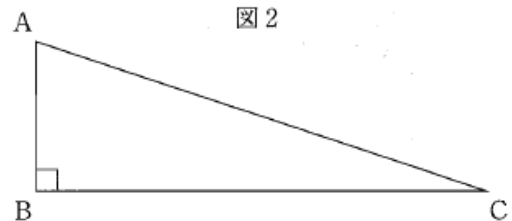
図3は、これらの台形5個をすき間なく重ならないように並べて
つくった、 $EF \parallel HG$, $EF < HG$ の台形 $EFGH$ である。この台形 $EFGH$ を、
辺 GH を軸として1回転させたときにできる立体の体積を求めなさい。
ただし、円周率は π とする。(平塚江南2009)



問4. 図2のような、 $AB = 6\text{ cm}$, $AC = 9\text{ cm}$, $\angle ABC = 90^\circ$ の直角三角
形 ABC がある。この直角三角形 ABC を、辺 AC を軸として1回転させ
たときにできる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とする。
(小田原2007)



問5. 図2の三角形 ABC は、 $\angle ABC = 90^\circ$, $AB = 1\text{ cm}$, $BC = 3\text{ cm}$ の直角三角形である。この
三角形 ABC を線分 AB を軸として1回転させてできる円すいの体積を $U\text{ cm}^3$, 線分 BC を軸
として1回転させてできる円すいの体積を $V\text{ cm}^3$ とするとき、 U と V の比を**もっとも簡単な整
数の比**で求めなさい。(2011湘南)



問 1.

(ア) 3 : 4 : 5 の 2 倍の 6 : 8 : 10 より 10 (cm)

(イ) $6 \times 6 \times \pi \times 8 \times \frac{1}{3} = 96 \pi$ (cm³)

(ウ) 30 (cm²)

△ ABC において, AD = DB, AE = EC より,

中点連結定理より, DE // BC, $DE = \frac{1}{2}BC = \frac{1}{2} \times 6 = 3$ (cm)

DE の延長と円 E の円周との交点を Q とおくと,
△ BPF の面積が最も大きくなるのは直径 BF から,
円 E の円周への距離が最も長くなる時だから,
点 P が弧 DQ の中点になるとき。

よって, このとき, △ PBF は二等辺三角形になり,
PC は直角三角形 CEP の斜辺となる。

3 : 4 : 5 より CP = 5 (cm),

$\triangle BPF = \frac{1}{2} \times BF \times CP = \frac{1}{2} \times 12 \times 5 = 30$ (cm²)

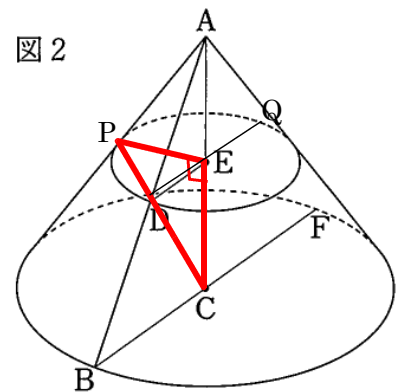


図 2

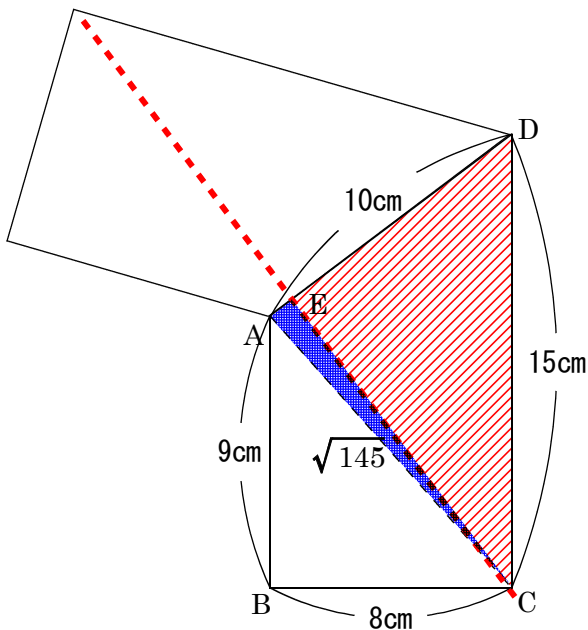
問 2.

(ア) 3 : 4 : 5 の 2 倍の 6 : 8 : 10 より 10 (cm)

(イ) おうぎ形 $10 \times 16 \pi \times \frac{1}{2} = 80 \pi$ 側面積の長方形 $9 \times 16 \pi = 144 \pi$ 底面積 64π

$80 \pi + 144 \pi + 64 \pi = 288 \pi$ cm²

(ウ)



$$AC^2 = 8^2 + 9^2 = 145$$

AE = x とおいて CE² を 2 通りで表す
△ ACE において三平方の定理より

$$CE^2 = (\sqrt{145})^2 - x^2$$

△ ECD において三平方の定理より

$$CE^2 = 15^2 - (10 - x)^2$$

したがって

$$15^2 - (10 - x)^2 = (\sqrt{145})^2 - x^2$$

$$225 - 100 + 20x - x^2 = 145 - x^2$$

$$20x = 145 - 125$$

$$20x = 20$$

$$x = 1$$

$$AE = 1 \text{ より } DE = 10 - 1 = 9$$

$$3 : 4 : 5 \text{ の } 3 \text{ 倍より } EC = 12$$

直径が 24cm となるので 円周は 24π cm

問3.

(イ) EF//HG, EF < HG の台形 EFGH である。この台形 EFGH を、
辺 GH を軸として1回転させたときにできる立体の体積を求め
 なさい。ただし、円周率はπとする。

E, F から HG にそれぞれ垂線 EI, FJ をひく。

△ EHI は ∠ EHI = 60° の直角三角形だから、

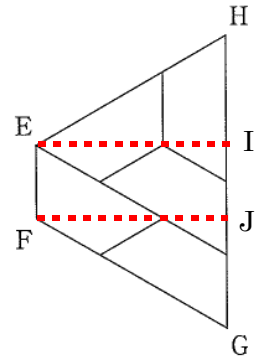
$$HI = \frac{EH}{2} = \frac{3}{2}(\text{cm}), \quad EI = \frac{3\sqrt{3}}{2}(\text{cm}) \quad \triangle FGJ \equiv \triangle EHI,$$

$$GJ = (4 - 1) \div 2 = \frac{3}{2}(\text{cm}),$$

$$FJ^2 = 3^2 - \left(\frac{3}{2}\right)^2 = \frac{27}{4} \quad \text{したがって、} FJ = \frac{3\sqrt{3}}{2}(\text{cm})$$

求める立体は、△ FGJ と △ EHI を回転させたものと、四角形 EFJI を回転させたものを足し

たもの、その体積は、 $\left(\frac{3\sqrt{3}}{2}\right)^2 \times \pi \times \frac{3}{2} \times \frac{1}{3} \times 2 + \left(\frac{3\sqrt{3}}{2}\right)^2 \times \pi \times 1 = \frac{27}{2} \pi (\text{cm}^3)$



(別解)

$$\left(\frac{3\sqrt{3}}{2}\right)^2 \times \pi \times 1 + \left(\frac{3\sqrt{3}}{2}\right)^2 \times \pi \times 3 \times \frac{1}{3} = \frac{27}{4} \pi \times 2$$

問4. $BC^2 = 9^2 - 6^2$ $BC > 0$ より $BC = 3\sqrt{5}$ B から AC に垂線 BH をひく。

△ ABH と △ ACB において、 共通なので ∠ BAH = ∠ CAB … ①

∠ AHB = ∠ ABC = 90° … ②

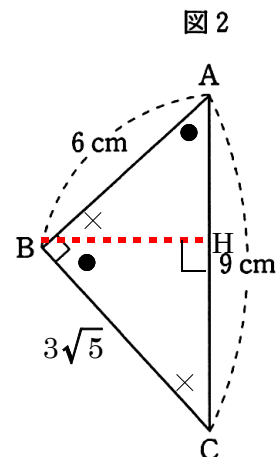
①, ②より、2組の角がそれぞれ等しいので、△ ABH ∽ △ ACB

よって、BH : CB = AB : AC $BH : 3\sqrt{5} = 6 : 9$

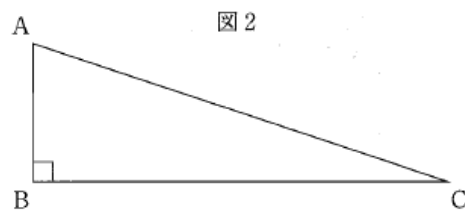
$$9BH = 18\sqrt{5} \quad BH = 2\sqrt{5}$$

したがって、求める体積は、

$$\begin{aligned} & \frac{1}{3} \pi \times (2\sqrt{5})^2 \times AH + \frac{1}{3} \pi \times (2\sqrt{5})^2 \times CH \\ &= \frac{1}{3} \pi \times (2\sqrt{5})^2 \times (AH + CH) \\ &= \frac{1}{3} \pi \times (2\sqrt{5})^2 \times 9 \\ &= 60 \pi (\text{cm}^3) \end{aligned}$$



問5. $U : V = 3 : 1$



線分 AB を軸として1回転させてできる円すいの体積を $U\text{cm}^3$,

$$3 \times 3 \times \pi \times 1 \times \frac{1}{3}$$

線分 BC を軸として1回転させてできる円すいの体積を $V\text{cm}^3$

$$1 \times 1 \times \pi \times 3 \times \frac{1}{3}$$